

# 営農再開地域における アライグマの行動特性と罨餌嗜好性の調査

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 放射性物質除去・低減技術開発事業

小事業名 営農再開に向けた技術の実証

研究課題名 営農を阻害する加害動物の行動特性や動物種把握による獣害防止策の提案  
〔農林水産分野の先端技術展開事業（JPJ009997）、特定復興再生拠点区域等の円滑な  
営農再開に向けた技術実証（JPFR24060105）〕

担当者 渡辺明、吉田雅貴、中村大輔（農研機構畜産研）、星典宏（農研機構東北研）

## I 新技術の解説

### 1 要旨

特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向け、農業生産環境に悪影響を及ぼすアライグマの効果的かつ効率的な対策のため、行動調査、罨餌嗜好性調査を実施し、アライグマを効率的に捕獲するための行動特性を明らかにした。

- (1) 営農再開地域のアライグマは行動調査から、大きく4つの行動タイプに分類することができ、行動タイプから捕獲に適した場所が選定できる(図1、図2)。
- (2) 罨餌嗜好性調査からは、個体毎に異なる餌を好むことが示され、単一の餌だけでなく、複数の餌をローテーションで用いることで、効率的な捕獲につながると考えられる(図3)。
- (3) 以上の成果と併せて、「営農再開地域におけるアライグマ対策ガイドライン」として対策技術をまとめ、農業総合センター及び農研機構HPにて公開予定である。

### 2 期待される効果

- (1) 営農再開地域における中型獣類の農業被害低減につながる。

### 3 活用上の留意点

- (1) ガイドラインは営農再開地域に生息する野生アライグマの調査成績をもとに作成しているため、他地域で利用する際はその地域毎の環境条件を踏まえて参照すること。

## II 具体的データ等

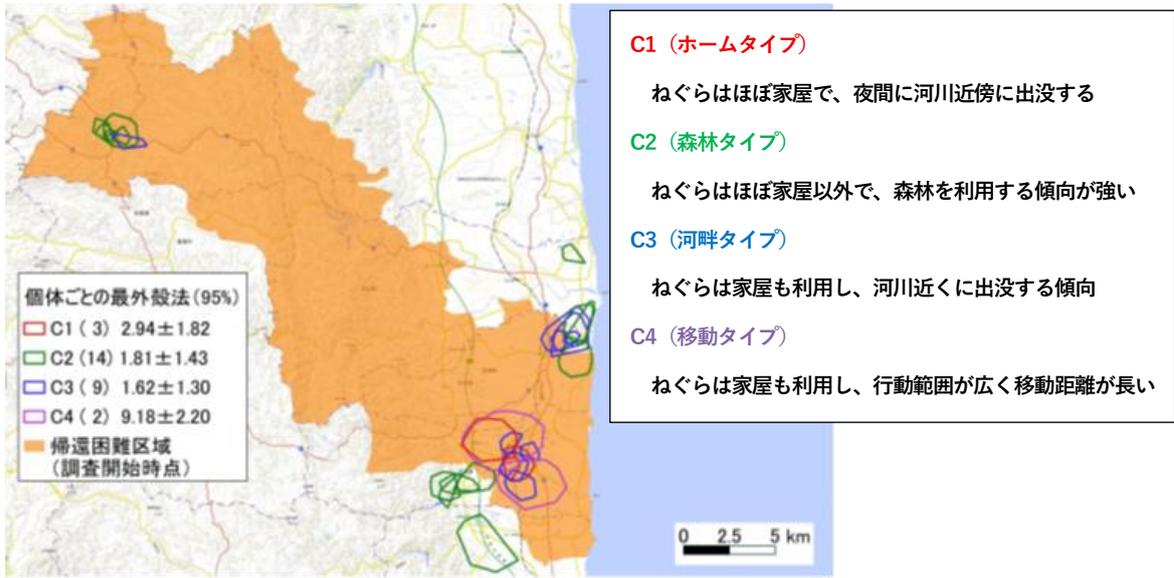


図1 アライグマの行動タイプ

※調査した野生アライグマ(n=28)を行動分類で色分けした行動圏の全体像を示しており、橙色は調査開始時点の帰還困難区域

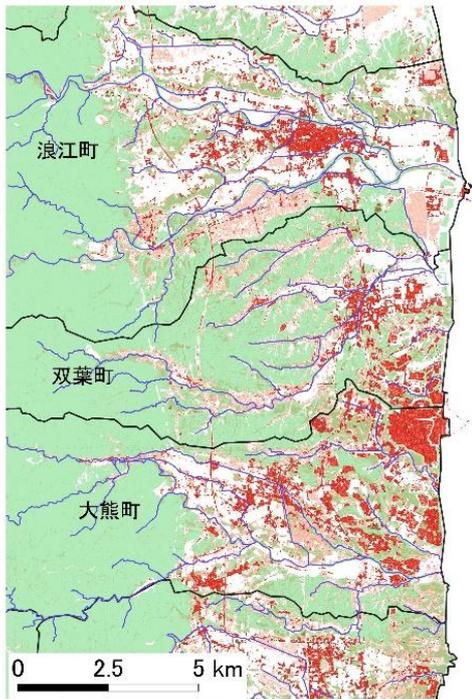


図2 捕獲に適した場所(C1 タイプ)

※アライグマが好む環境を赤塗りで図示している

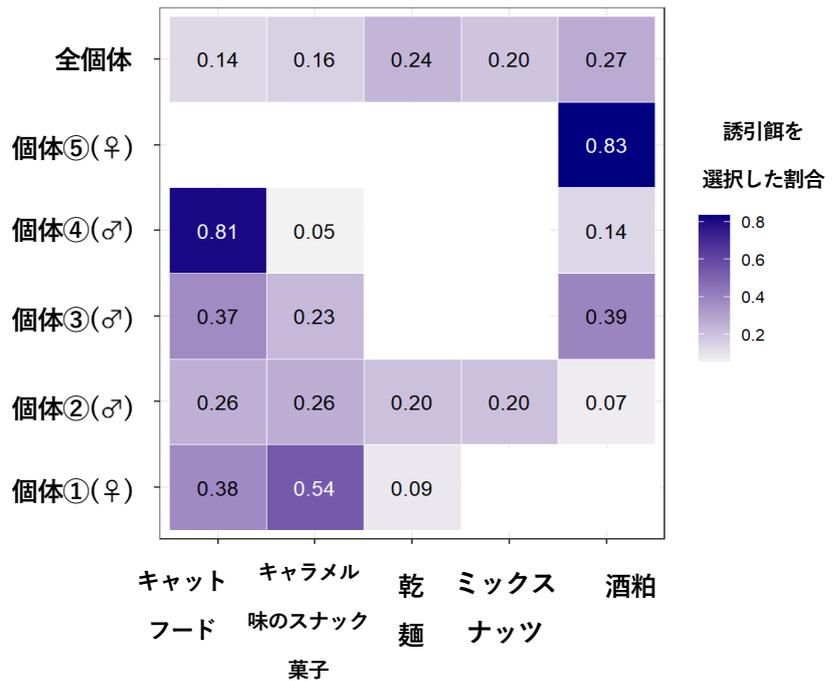


図3 アライグマが最初に摂食した餌の割合

※提示された餌に対し、最初に摂食した割合が多い餌ほど色が濃くなる

## III その他

### 1 執筆者

渡辺明

### 2 実施期間

令和3～7年度

### 3 主な参考文献・資料

なし